

平成30年度(2018) 歯科医師臨床研修プログラム

1. 初期研修コース…研修初期（4月～5月）に行う

一般目標：研修を行なうにあたって必要な基本的事項を、講義、シミュレーション実習から学習する

(1) 初期研修 (I) GIO: 適切な歯科診療を行うために必要な知識を学習する	研修内容	必要な症例数 (症例数の数え方)	研修歯科医の指導体制	修了判定の評価基準
行動目標 ①関連法規を学習する : 認知・情意領域 ②保険診療に必要な知識を学習する : 認知・情意領域 ③基本的な接遇方法を学習する : 認知・情意領域 ④医療面接を体験する : 認知・情意領域 ⑤カルテの記載方法を学習する : 認知・情意領域 ⑥コンピュータを用いたカルテの記載方法を体験する : 認知・情意領域 ⑦一口腔単位の治療計画を作成するための基本的な知識を習得する : 認知・情意領域 ⑧安全な医療を実施するために必要な知識を学習する (院内感染防止、BLS) ⑨医療管理にかかわる基本的知識を学習する (機器管理・医療廃棄物など)	講義・シミュレーション実習への参加、臨床見学によりポートフォリオを作成する。	/	項目ごとに担当する指導歯科医を決め、ポートフォリオ作成の際にサポート等を行う。	担当した指導歯科医がポートフォリオの評価を行い、目標の達成を確認する。
(2) 初期研修 (II) GIO: 一般的な歯科疾患の診査・治療を行なうために必要な基本的技術を身につける	研修内容	必要な症例数 (症例数の数え方)	研修歯科医の指導体制	修了判定の評価基準
行動目標 ①歯周治療における基本的な診査、手技を学習する : 知識・技能 ②修復処置の基本的技術を学習する : 知識・技能 ③窩洞形態を学習する : 知識・技能 ④側方加圧根管充填の為に具備すべき根管の拡大形成後の形態を述べる事ができる : 知識 ⑤側方加圧根管充填にかかわる一連の基本手技を学習する : 知識・技能 ⑥補綴治療を含めた一連の治療の手順を学習する : 知識 ⑦補綴装置の設計及び基本的な手技を学習する : 知識・技能 ⑧適切な処方、服薬指導、処方箋の書き方を学習する : 知識 ⑨抜歯処置における偶発症について学習する : 知識 ⑩抜歯・縫合法における基本技術を学習する : 知識・技能	講義・シミュレーション実習への参加、臨床見学によりポートフォリオを作成する。	/	項目ごとに担当する指導歯科医を決め、ポートフォリオ作成の際にサポート等を行う。	担当した指導歯科医がポートフォリオの評価を行い、目標の達成を確認する。

2. 基本修得コース…1年間を通じて行う

一般目標 : 患者の立場に立った歯科医療を実践するために必要な基本的臨床能力を身につける

(1) 医療面接 GIO: 患者中心の歯科医療を実施するために、医療面接についての知識、態度及び技能を身につけ実践する		研修内容	必要な症例数 (症例数の数え方)	研修歯科医の指導体制	修了判定の評価基準
行動目標	①コミュニケーションスキルを実践する : 認知・情意・精神運動領域	医療面接を実践する	10症例以上 (一患者単	上級歯科医・指導歯科医が研修歯科医に患者を配当し、研修歯科医は上級歯科医・指導歯科医の指導の下、医療面接を行う。	目標達成の基準として、合計10症例以上経験していることが必要
	②病歴(主訴、現病歴、既往歴及び家族歴)聴取を的確に行う : 認知・精神運動領域				
	③病歴を正確に記録する : 認知・精神運動領域				
	④患者の心理・社会的背景に配慮する : 情意領域				
	⑤患者・家族に必要な情報を十分に提供する : 認知領域				
	⑥患者の自己決定を尊重する(インフォームドコンセントの構築) : 情意領域				
	⑦患者のプライバシーを守る : 認知・情意領域				
	⑧患者の心身におけるQOL(Quality of Life)に配慮する : 情意領域				
	⑨患者教育と治療への動機付けを行う : 認知・精神運動領域				
(2) 総合診療計画 GIO: 効果的で効率の良い歯科診療を行うために総合診療計画の立案に必要な能力を身につける		研修内容	必要な症例数 (症例数の数え方)	研修歯科医の指導体制	修了判定の評価基準
行動目標	①適切で十分な医療情報を収集する : 知識(問題解決)・態度・技能	配当された患者の情報を収集し、一口腔単位で治療計画を立案する。	5症例以上(一患者単位)	研修歯科医は上級歯科医・指導歯科医の指導の下、文献検索やスモールグループ討論により治療計画を立案する。	目標達成の基準として、合計5症例以上経験していることが必要
	②基本的な診察・検査の所見を判断する : 知識(問題解決)・技能				
	③得られた情報から診断する : 知識(問題解決)・態度・技能				
	④適切と思われる治療法及び別の選択肢を提示する : 知識(問題解決)・技能				
	⑤十分な説明による患者の自己決定を確認する : 知識(問題解決)・技能				
	⑥一患者単位の治療計画を作成する : 知識(問題解決)・技能				
	⑦POS(Problem Oriented System)に基づいた医療を説明する : 知識(問題解決)・技能(模倣)				
	⑧EBM(Evidence Based Medicine)に基づいた医療を説明する : 知識(問題解決)・技能(模倣)				
(3) 診療基本技術 GIO: 一般的な歯科疾患の予防・診査・治療・記録を行なうために必要な基本的技術を身に付ける		研修内容	必要な症例数 (症例数の数え方)	研修歯科医の指導体制	修了判定の評価基準
行動目標	①基本的な予防法の手技を実践する : 知識(問題解決)・技能	臨床で予防・診査・治療・カルテの記載等を実践する。	5症例以上(一患者単位)	研修歯科医は上級歯科医・指導歯科医の指導の下、治療を行う。	目標達成の基準として、5症例以上経験していることが必要
	②基本的な診査法の手技を実践する : 知識(問題解決)・技能				
	③基本的な治療法の手技を実践する : 知識(問題解決)・技能				
	④医療記録を適切に記載する : 知識(問題解決)・技能				

（４）医療安全・院内感染防止 G10：安全な医療を実施するために必要な医療安全・院内感染防止に関する知識、態度および技能を習得する		研修内容	必要な症例数 (症例数の数え方)	研修歯科医の指導体制	修了判定の評価基準
行動目標	①医療安全対策を説明する：知識（問題解決）	関連する講義・実習・院内講習会等に参加し、ポートフォリオを作成する。	/	担当する指導歯科医を決め、ポートフォリオ作成の際にサポート等を行う。	目標達成の基準として、講習会等に1回以上参加することが必要
	②アクシデント及びインシデントを説明する：知識（問題解決）				
	③医療過誤について説明する：知識（問題解決）				
	④院内感染防止対策（Standard Precautions）を説明する：知識（問題解決）				
	⑤歯科診療に関係の深い感染症の特徴とリスクを説明する：知識（問題解決）				
	⑥院内感染防止対策を実践する：精神運動領域				
	⑦当院における器材の滅菌システムを説明する：知識（問題解決）				
（５）救急処置 G10：歯科診療を安全に行うために必要な救急処置に関する知識、態度及び技能を修得する		研修内容	必要な症例数 (症例数の数え方)	研修歯科医の指導体制	修了判定の評価基準
行動目標	①バイタルサインを観察し、異常を評価する：認知（問題解決）・技能（コントロール）	関連する講義・実習・院内講習会等に参加し、ポートフォリオを作成する。	/	担当する指導歯科医を決め、ポートフォリオ作成の際にサポート等を行う。	目標達成の基準として、講習会等に1回以上参加することが必要
	②歯科診療時の全身的合併症への対処法を説明する：知識（解釈）				
	③全身疾患の歯科診療上のリスクを説明する：知識（解釈）				
	④服用薬剤の歯科診療に関連する副作用を説明する：技能（模倣）				
	⑤一次救命処置(BLS: Basic life support)を実践する：技能（模倣）				
	⑥二次救命処置(ACLS: Advanced cardiovascular life support)の対処法を説明する：知識（解釈）				
（６）医療管理（I） G10：歯科診療を適切に行うために必要な医療管理に関する能力を身につける		研修内容	必要な症例数 (症例数の数え方)	研修歯科医の指導体制	修了判定の評価基準
行動目標	①保険診療を実践する：知識・技能・情意領域	関連する講義・実習等に参加し、臨床で実践する。	/	研修歯科医は上級歯科医・指導歯科医の指導の下、各項目を実践する。	目標達成の基準として、各項目を10回以上実践することが必要
	②チーム医療を実践する：技能・情意領域				
	③医療記録を適切に管理する（個人情報保護法）：知識・技能				
	④医療廃棄物を適切に処理する：知識・技能				
	⑤適切な放射線管理を実践する：知識・技能				

3. 高頻度治療コース…一年間を通じて行う

一般目標 : 高頻度に遭遇する一般的な歯科疾患に対応するために必要な知識、技能、態度を身につけ、入院、患者管理に必要な知識を学習する

(1) 歯周疾患 GIO: 歯周疾患の基本的な治療を実践するために必要な知識、技能、態度を身に付ける		研修内容	必要な症例数 (症例数の数え方)	研修歯科医の指導体制	修了判定の評価基準
行動目標	①診査・診断に基づいて適正な治療計画を立案する : 知識(問題解決)・技能	歯周初期治療(プラークコントロール・スケーリング・ルートプレーニング・咬合調整), 歯周外科処置の治療または見学、介助	歯周初期治療は5症例以上(一患者単位)、歯周外科処置は1症例以上(一症例単位)	研修歯科医は上級歯科医・指導歯科医の指導の下、治療を行う。	目標達成の基準として、歯周初期治療は5症例以上(一患者単位)、歯周外科処置は1症例以上(一症例単位)以上経験していることが必要
	②患者に病態の説明を行う : 知識(問題解決)・技能				
	③患者のモチベーションを確立する : 知識(問題解決)・態度・技能				
	④プラークコントロールを実践する : 知識(問題解決)・態度・技能				
	⑤スケーリング・ルートプレーニングを行う : 知識(問題解決)・技能				
	⑥適切な負担軽減療法を実践する : 知識(問題解決)・技能				
	⑦局所修飾因子の除去を行う : 知識(問題解決)・技能				
	⑧適切なメンテナンスを実施する : 知識(問題解決)・技能				
(2) 齶蝕・歯髄疾患 GIO: 齶蝕、歯髄疾患の基本的な治療を実践するために必要な知識、技能、態度を身に付ける		研修内容	必要な症例数 (症例数の数え方)	研修歯科医の指導体制	修了判定の評価基準
行動目標	①治療法を説明する : 知識	患者へ治療方法を説明する	各1症例以上(歯内治療は開始より根充まで行った場合を1症例とする)	研修歯科医は上級歯科医・指導歯科医の指導の下、治療を行う。	目標達成の基準として、各1症例以上経験していることが必要
	②歯髄の保護処置を実践する : 技能	覆髄			
	③成形充填を実践する : 技能	レジン修復			
	④鑄造修復を実践する : 技能	インレー修復			
	⑤基本的な歯内治療を実践する : 技能	抜髄または感染根管処置			
	⑥根管治療時の偶発症とその予後を説明できる : 知識	術後の説明を行う			
(3) 咬合・咀嚼障害 GIO: 咬合・咀嚼障害の基本的な治療を実践するために必要な知識、技能、態度を身につける		研修内容	必要な症例数 (症例数の数え方)	研修歯科医の指導体制	修了判定の評価基準
行動目標	①クラウンの設計をする : 知識(問題解決)	歯冠補綴(クラウンまたはブリッジ)	各1症例以上(印象から装着まで行った場合を1症例とする)	研修歯科医は上級歯科医・指導歯科医の指導の下、治療を行う。	目標達成の基準として、各1症例以上経験していることが必要
	②クラウンの治療を実践する : 技能(コントロール)				
	③ブリッジの設計をする : 知識(問題解決)	有床義歯			
	④局部床義歯の設計をする : 知識(問題解決)				
	⑤全部床義歯の設計をする : 知識(問題解決)				
	⑥基本的な欠損補綴の治療を実践する : 技能(コントロール)				
	⑦患者の顎機能状態を判断する : 知識(想起)				

(4) 抜歯 G10: 基本的な抜歯を実践するために必要な知識、技能、態度を身につける		研修内容	必要な症例数 (症例数の数え方)	研修歯科医の指導体制	修了判定の評価基準
行動目標	①基本的な抜歯手技を実践する : 技能(コントロール)	普通抜歯	各1症例以上	研修歯科医は上級歯科医・指導歯科医の指導の下、治療、介助を行う。	目標達成の基準として、各1症例以上経験していることが必要
	②服薬剤の注意、指導を実践する : 知識(問題解決)・技能(模倣)				
	③抜歯後の注意事項を説明する : 知識(問題解決)・技能(模倣)				
	④抜歯の偶発症を列挙し、その対処法を説明する : 知識(問題解決)・技能(模倣)				
	⑤難抜歯の対処法を説明する : 知識(問題解決)・技能(模倣)	難抜歯の治療、見学、介助			
(5) 病棟・手術室 G10: 入院、患者管理、全身麻酔手術に必要な基本的臨床能力を学習する		研修内容	必要な症例数 (症例数の数え方)	研修歯科医の指導体制	修了判定の評価基準
行動目標	①入院、全身麻酔手術の必要性を説明できる : 知識(問題解決)	全身麻酔手術への参加	1症例以上	研修歯科医は上級歯科医・指導歯科医の指導の下、治療、介助を行う。	目標達成の基準として、各1症例以上経験していることが必要
	②術前の検査データから患者の全身状態を評価する : 知識(問題解決)				
	③手術方法を説明できる : 知識(問題解決)				
	④手術前後の患者管理を経験する : 技能				
	⑤病棟処置の実施、介助を行なう : 技能				
	⑥手術の助手を経験する : 技能				
(6) 応急処置 G10: 応急処置を要する一般的な歯科疾患に対処するために必要な知識、技能、態度を身に付ける		研修内容	必要な症例数 (症例数の数え方)	研修歯科医の指導体制	修了判定の評価基準
行動目標	①歯痛に対する基本的な除痛処置を実践する : 認知・精神運動領域	除痛処置	各1症例以上	研修歯科医は上級歯科医・指導歯科医の指導の下、治療、介助を行う。	目標達成の基準として、各1症例以上経験していることが必要
	②歯性炎症に対する基本的な消炎処置を実践する : 技能・認知領域	消炎処置			
	③歯、口腔の外傷に対する基本的な治療方法を説明できる : 知識・認知領域	外傷に対する処置			
	④修復物、歯冠補綴物の脱離、破損に対する適切な処置を実践する : 技能・認知領域	脱落、破損に対する処置			
	⑤義歯の破損、不適合に対する適切な処置を実践する : 技能・認知領域	義歯の修理、調整			
(7) 経過評価管理 G10: 自ら行った治療の経過を観察評価するために、診断及び治療に対するフィードバックに必要な知識、技能、態度を身に付ける		研修内容	必要な症例数 (症例数の数え方)	研修歯科医の指導体制	修了判定の評価基準
行動目標	①リコールシステムの重要性を説明する : 知識(問題解決)	自らが行った治療の経過、予後进行评估する。	1症例以上	研修歯科医は上級歯科医・指導歯科医の指導の下、治療を行う。	目標達成の基準として、1症例以上経験していることが必要
	②治癒機転を説明する : 知識(問題解決)				
	③治療の結果を評価する : 知識(問題解決)				
	④予後を推測する : 知識(想起)				

4. 生涯研修コース…研修中期以降に行う

一般目標 : 専門的、先進的な歯科医療、関連医科など幅広い医療を体験、理解し、生涯研修を行なうための態度を養う

(1) 先進的、専門的分野 GIO : 生涯研修のために必要な専門的知識や高度先進的技術を理解する		研修内容	必要な症例数 (症例数の数え方)	研修歯科医の指導体制	修了判定の評価基準
行動目標	①専門的な分野の情報を収集する : 知識 (問題解決)	各専門分野の指導歯科医による講義や実習への参加、診療見学、診療参加、ポートフォリオの作成	/	専門分野ごとに担当する上級歯科医、指導歯科医を決め、ポートフォリオ作成の際にサポート等を行う。	指導歯科医がポートフォリオの評価を行い、目標の達成を確認する。
	②専門的な分野を体験する : 技能 (模倣)				
	③インプラント治療を経験する : 技能 (模倣)				
	④口腔内装置による睡眠時無呼吸症候群の治療を経験する : 技能 (模倣)				
(2) 関連医科 GIO : 歯科医師として必要な医学的知識を修得する		研修内容	必要な症例数 (症例数の数え方)	研修歯科医の指導体制	修了判定の評価基準
行動目標	①歯科診療に必要な医学的知識を学習する : 知識 (問題解決)	指導医 (医師) による講義への参加、診療見学、ポートフォリオの作成	/	担当する指導医 (医師) が、ポートフォリオ作成の際にサポート等を行う。	指導歯科医がポートフォリオの評価を行い、目標の達成を確認する。
	②歯科診療と関連する医科との関りを説明できる : 知識 (問題解決)				
	③コメディカルスタッフとコミュニケーションする : 情意領域 (態度・習慣)				
(3) 医療管理 (II) ・地域医療 GIO : 適切な歯科診療を行なうために必要な医療管理・地域医療を理解し、歯科医師の社会的役割を認識する		研修内容	必要な症例数 (症例数の数え方)	研修歯科医の指導体制	修了判定の評価基準
行動目標	①必要に応じた医療情報の収集、提供を行う : 知識・技能・情意領域	関連するセミナー、グループ討論への参加、文献検索、歯科訪問診療への参加とポートフォリオの作成	/	指導歯科医を決め、ポートフォリオ作成の際にサポート等を行う。	指導歯科医がポートフォリオの評価を行い、目標の達成を確認する。
	②保険診療と自費診療の違いを説明する : 知識				
	③医療連携を説明する : 知識				
	④診療に関する法規を説明する : 知識				
	⑤地域歯科保険活動を説明する。 : 知識				
	⑥歯科訪問診療を説明する : 知識				
	⑦歯科医療機関の経営管理を説明する : 知識				